

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	交通局	大谷唯輝

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	利便性・持続性の高い公共交通システムの構築（～持続可能な行財政運営～）
2	安全輸送の徹底・交通法規を遵守したプロドライバーの育成強化
人財育成・内部統制	安定的事業運営（①人材の確保（採用⇒運転士ではなく育成を加える） ②明確な経営指針の策定 ③リスクマネジメントの強化

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	交通事業課	古谷信弘

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・市のまちづくりにおいて移動手段の確保を担う責務を果たすため、将来にわたって安定的で持続可能な事業体制の構築を図る。
- ・市民に必要とされる移動手段として存在し続けるため、路線バスの維持・確保を図るとともに、安心・安全で質の高い運送サービスを提供する。

2 課の目標

		関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	<u>安心・安全な運行</u> ・安心・安全な公共交通機関としての信頼の回復及び向上 ・事故費削減及び運転士の負担軽減による継続的な事業運営 ・利用者サービスの向上	個別計画 (宇部市交通事業 経営戦略)	有責事故件数(件数)	人身 0件 物損 0件	人身 1件 物損 31件	人身 0件 物損 0件	—
2	<u>適正な定員の確保</u> ・路線バスの安定的な運行 ・運転士の労働環境改善(拘束時間、運転時間の短縮等) ・安全及び接遇に関する集団研修によるサービスの向上 ・貸切バスの運行に伴う収支改善	個別計画 (宇部市交通事業 経営戦略)	運転士数(人数)	70人	67人	70人	—
3	<u>路線バス利用者の増加</u> ・安心・安全な暮らしを支える地域公共交通の維持・確保 ・利便性の高い運送サービスの充実 ・市財政の負担軽減	前期実計	路線バスの利用促進 (1日の利用者数)	5,500人/日	4,981人/日	5,400人/日	未来1
4	<u>ICカード利用率の向上</u> ・キャッシュレス化の推進 ・乗降時間の短縮に伴うバスの定時性確保 ・ICカード利用者データの活用による利用実態に即したルート及びダイヤの見直し	個別計画 (宇部市交通事業 経営戦略)	ICカード利用率 (バス利用者に占める割合)	60.0%	39.7%	56.0%	—
人財育成・内部統制	・職員一人ひとりが、法令遵守を踏まえて利用者に親身に対応するため、関係法令(宇部市営旅客自動車運送条例、旅客自動車運送事業運輸規則、運送約款)の理解を深める。 ・進捗確認やホウレンソウを密にするため、管理職に話しかけやすい雰囲気づくりを醸成する。						